

平成21年3月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成20年8月4日

上場会社名 株式会社 イージーユーズ
 コード番号 2495 URL <http://www.ezuz.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西澤 岳志
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 岩崎 秀樹
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月6日

上場取引所 札

TEL 03-6674-1365

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	105	—	△13	—	△14	—	△14	—
20年3月期第1四半期	94	△38.5	△77	—	△91	—	△319	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	△1,444.79	—
20年3月期第1四半期	△53,422.50	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
21年3月期第1四半期	583	—	486	—	83.3	—	49,656.84	—
20年3月期	590	—	498	—	84.3	—	50,892.87	—

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 486百万円 20年3月期 498百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期累計期間	237	26.2	6	—	2	—	1	—	203.41
通期	667	57.5	60	—	55	—	55	—	5,642.31

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 9,788株 20年3月期 9,788株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 一株 20年3月期 一株
 ③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 21年3月期第1四半期 9,788株 20年3月期第1四半期 5,988株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 業績予想に関する定性的情報をご参照ください。

2. 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期会計期間におけるわが国の経済は、原油・原材料価格の高騰及びサブプライム・ローン問題を背景とし、企業収益の改善や設備投資についての減速感は大きく現れていませんが、先行きの不透明感は増しております。インターネット広告分野におきましては、利用者数の拡大およびモバイル化の進展により市場の拡大基調は続いており、サービスの多様化、顧客ニーズの変化が激化しております。このような状況下で当社はインターネットビジネスを加速させ、さらなる規模拡大を目指して積極的な事業展開をはかりました。売上高につきましては、前事業年度に実施した事業再構築により営業活動をインターネットビジネスへ集中したことや自社運営サイトのプロモーション強化等により、前第1四半期会計期間に比べて11.0%増加し、105,388千円となりました。しかしながら固定コストを吸収しきれず、営業利益を計上するには至りませんでした。以上の結果、当第1四半期会計期間の業績は、売上高105,388千円(前年同期比11.0%増)、営業損失13,489千円、経常損失14,256千円、四半期純損失14,141千円となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態の分析

当第1四半期会計期間末における資産、負債及び純資産の状態は以下のとおりです。

① 資産

当第1四半期会計期間末における流動資産は428,811千円(前事業年度末は448,430千円)となり、19,618千円減少しました。これは主として現金及び預金の減少、有価証券の減少によるものであります。固定資産は154,788千円(前事業年度末は142,238千円)となり、12,550千円増加しました。これは主としてソフトウェアの増加によるものであります。この結果、資産合計は583,600千円(前事業年度末は590,668千円減)となり、7,067千円減少しました。

② 負債

当第1四半期会計期間末における流動負債は81,235千円(前事業年度末は74,626千円)となり、6,608千円増加しました。これは主として買掛金の増加によるものであります。固定負債は16,324千円(前事業年度末は17,902千円)となり、1,578千円減少しました。これは長期借入金の減少によるものであります。この結果、負債合計は97,559千円(前事業年度末は92,528千円)となり、5,030千円増加しました。

③ 純資産

当第1四半期会計期間末における純資産は486,041千円(前事業年度末は498,139千円)となり、12,098千円減少しました。これは主として四半期純損失を計上したため繰越利益剰余金が減少したことによるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前事業年度末に比べ104,043千円減少し、214,723千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは26,737千円の現金及び現金同等物の増加となりました。これは主として売上債権の減少及び仕入債務の増加によるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、114,203千円の現金及び現金同等物の減少となりました。これは主として貸付金の増加による支出によるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、16,578千円の現金及び現金同等物の減少となりました。これは主として短期借入金の返済による支出によるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

平成20年5月16日に発表いたしました第2四半期累計期間および通期の業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

②棚卸資産の評価基準及び評価方法の変更

「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会平成18年7月5日企業会計基準第9号)を当第1四半期会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

この変更に伴う損益に与える影響額はありません。

5. 【四半期財務諸表】

(1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成20年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	127,154	209,794
受取手形及び売掛金	85,792	110,421
有価証券	88,570	109,974
仕掛品	—	382
貯蔵品	110	110
短期貸付金	100,000	—
その他	28,336	19,087
貸倒引当金	△1,152	△1,340
流動資産合計	428,811	448,430
固定資産		
有形固定資産	5,506	6,137
無形固定資産		
ソフトウェア	93,096	84,260
その他	72	72
無形固定資産合計	93,168	84,332
投資その他の資産	59,415	55,071
貸倒引当金	△3,303	△3,303
投資その他の資産合計	56,112	51,768
固定資産合計	154,788	142,238
資産合計	583,600	590,668
負債の部		
流動負債		
買掛金	33,573	19,138
短期借入金	10,000	25,000
1年内返済予定の長期借入金	6,312	6,312
未払法人税等	524	1,040
本社移転損失引当金	4,993	4,248
その他	25,831	18,887
流動負債合計	81,235	74,626
固定負債		
長期借入金	16,324	17,902
固定負債合計	16,324	17,902
負債合計	97,559	92,528

株式会社イーユーズ(2495)平成21年3月期 第1四半期決算短信(非連結)

(単位:千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成20年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	541,390	541,390
資本剰余金	319,750	319,750
利益剰余金	△368,719	△354,577
株主資本合計	492,420	506,562
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△6,379	△8,422
評価・換算差額等合計	△6,379	△8,422
純資産合計	486,041	498,139
負債純資産合計	583,600	590,668

(2) 【四半期損益計算書】

(単位：千円)	
当第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	
売上高	105,388
売上原価	81,450
売上総利益	23,937
販売費及び一般管理費	37,427
営業損失(△)	△13,489
営業外収益	
受取利息	515
受取配当金	98
投資有価証券売却益	166
その他	5
営業外収益合計	784
営業外費用	
支払利息	253
投資有価証券売却損	552
本社移転損失引当金繰入額	745
その他	1
営業外費用合計	1,552
経常損失(△)	△14,256
特別利益	
貸倒引当金戻入額	187
特別利益合計	187
税引前四半期純損失(△)	△14,069
法人税、住民税及び事業税	72
四半期純損失(△)	△14,141

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位:千円)

	当第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純損失(△)	△14,069
減価償却費	3,506
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△187
本社移転損失引当金の増加額	745
受取利息及び受取配当金	△613
支払利息	253
投資有価証券売却益	△166
投資有価証券売却損	552
売上債権の増減額(△は増加)	24,629
たな卸資産の増減額(△は増加)	382
仕入債務の増減額(△は減少)	14,434
その他	△4,514
小計	24,953
利息及び配当金の受取額	2,297
利息の支払額	△223
法人税等の支払額	△290
営業活動によるキャッシュ・フロー	26,737
投資活動によるキャッシュ・フロー	
無形固定資産の取得による支出	△11,713
投資有価証券の取得による支出	△15,100
投資有価証券の売却による収入	13,009
貸付けによる支出	△100,000
その他	△399
投資活動によるキャッシュ・フロー	△114,203
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の返済による支出	△15,000
長期借入金の返済による支出	△1,578
財務活動によるキャッシュ・フロー	△16,578
現金及び現金同等物に係る換算差額	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△104,043
現金及び現金同等物の期首残高	318,767
現金及び現金同等物の四半期末残高	214,723

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。